

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
設計計画 3											
対象	4 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	松村 哲志 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ系設計事務所において商業建築、住宅などの設計・監理の業務経験を持つ。また独立後は建築設計事務所を主宰している。設計、まちづくりの分野を専門とする。											
授業概要											
この授業では長期課題に取り組みながら、卒業制作を進める上での「手順」について、制作過程を考察するものである。ただし、実際の卒業制作のようにすべてを許容するものではなく、課題としていくつかのその制限と各カテゴリーを通してタームを制限しながら、段階的な成果物の提出を求める。換言すると「卒業制作のシュミレーション」という長期課題を確実に完成させる為に、いくつかの短期課題を包含させるといった「二重構造」の課題形式により、それぞれのカテゴリーでの成果物提出と最終的な長期課題としてのプレゼンシートの提出を求めるものである											
到達目標											
1. ロングスケジュールという「卒業制作」を取組む上での「手順」及び「仕方」という設計過程を理解する。 2. 各タームにて制限時間を与えながら、スケジュール管理ができるようにする。 3. 基本的な図面の描き方について確認し、適切な図面表現について確実なスキルにさせる。 4. プレゼンについての考察をする。 5. 模型の表現・パースの表現・3Dの表現・動画の表現、或いは手描きによる表現について確立させる。 6. アイデア出し、コンセプト制作から具体的な建築物へ「形を与えるその手法」を考察する。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題提出 発表 平常点	50% 30% 20%	2 回の課題提出、その最後の内容について採点を行う 課題提出に伴う発表及びそこでの議論により採点を行う 普段行われるエスキスの状況、進捗など									
履修上の注意											
この授業では積み重ねが大切である。また、自宅での学習、エスキスに向けた課題への取り組みがクリエイティブの根幹をなすというモノづくりの流れと原則を身体感覚に根差した理解を行う。よって具体的には休まないこと。そして自宅での準備の充実を注意点として挙げる。 ※なお、特別演習 3 とリンクして授業を行う予定。											
教科書教材											
資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	長期課題 1st Week				課題を進める上でのガイダンス						
第2回	長期課題 2nd Week				3 つの地域について、フィールドワーク（街歩き）						
第3回	長期課題 3rd Week				敷地場所とプログラム選定（企画発表）						
第4回	長期課題 4st Week				敷地選びテーマ選び、ディスカッション、1st studyエスキスチェック、敷地						
第5回	長期課題 5nd Week				エスキスチェック 2、敷地模型製作 1						

2022年度 日本工学院専門学校		
建築学科		
設計計画 3		
第6回	長期課題 6rd Week	エスキスチェック 3、敷地模型完成
第7回	長期課題 7th Week	中間発表会
第8回	長期課題 8th Week	エスキスチェック 4、JUMP 1（案をJUMPさせる）平面図 手書き
第9回	長期課題 9th Week	エスキスチェック 5、JUMP 2、断面図 手書き
第10回	長期課題 10th Week	エスキスチェック 6、CAD図面、模型製作、コンセプト、ダイアグラム
第11回	長期課題 11th Week	エスキスチェック 7、CADプレゼンテーション提出 1
第12回	長期課題 12th Week	プレゼンテーション及びエスキスチェック
第13回	長期課題 13th Week	長期課題 発表会
第14回	卒業制作 準備講座	スタジオ選択プレゼン（相互プレゼンテーション）、敷地・テーマについてディスカッション
第15回	卒業制作 準備講座	敷地・テーマの決定、Firstスタディ、後期卒業設計へ